

第2回和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体整備に向けた検討会〔議事概要〕

日 時	令和7年3月27日（木）18:00～20:10			
場 所	ちよだパークサイドプラザ7階会議室			
出席者	所属			出席者
委 員	施設関係者	小学校・こども園	和泉小学校	校長
			学校運営協議会	（欠席）
			いずみこども園	園長
	地域関係者	町会	秋葉原東部町会連合会	会長
			地元町会（神田和泉町町会）	会長
		園児・児童・青少年	和泉小学校 PTA	副会長
			いずみこども園 PTA	会長
			青少年委員	委員
		代替園庭利用	アイグラン保育園東神田	園長
	隣接関係者	災害拠点病院 緊急医療救護所	三井記念病院	事務長
	学識経験者	アドバイザー（地域デザイン・建築計画）	日本大学理工学部教授	山中 新太郎
	千代田区	公園管理者	環境まちづくり部 環境まちづくり総務課長	神原 佳弘
		教育委員会	子ども部 教育担当部長	○ 大森 幹夫

○ 進行役（モデレーター）

オブザーバー	和泉橋出張所、道路公園課
事 務 局	千代田区教育委員会事務局 子ども部 子ども施設課
コンサルタント	株式会社都市環境研究所、ラーバンデザインオフィス合同会社
次 第	○前回以降の調査について ○地域への説明と意見について ○対応のポイントについて ○配置パターンの追加について ○今後の検討スケジュールについて
資 料	次第 資料1 検討状況の概要（令和7年度2月時点） 資料2 和泉公園利用状況調査の結果概要 資料3 公園、校庭等の風環境のシミュレーション結果概要 資料4 第1回和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体整備に向けた検討会意見まとめ 資料5 個別ヒアリングの概要 資料6 オープンハウス型地域説明会の概要 資料7 和泉小学校児童アンケートの実施結果 資料8 和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備 News Letter vol.1 資料9 対応のポイントについて 資料10 施設と公園の配置形態の検討 資料11 今後の検討スケジュール

	参考資料 1 第 1 回和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体整備に向けた検討会〔議事概要〕
--	--

意見等要旨

前回以降の調査	[公園の利用状況調査] ・代替園庭として利用する際は、公園を全体的に利用している。 ・調査は日中 16 時までしか行われていないが、夕方の 17 時頃には、こども園にお迎えに来た保護者とその子どもが公園を利用している場面が見られる。 [風環境シミュレーション] ・学校と公園を入れ替えることで公園の風環境が改善されとのことだが、新施設の建物の形がこのシミュレーションと異なる場合でも同じことが言えるか。 →改善度合いは変わる可能性がある。形状に合わせ、別途シミュレーションが必要である。(区事務局)
オープンハウスや個別ヒアリングでの意見と対応	・学校敷地と公園敷地の入れ替えについては、公園も含めた全体の機能が向上するのであれば進めても良いとする意見が代表的だった。(区事務局) ・しかし、校庭と公園と兼用しタイムシェアする考え方については、セキュリティの確保や校庭が覗きこまれることへの懸念が示された。このため、公園の上に人工地盤を張り出し校庭とする案と最上階の屋上に校庭を設ける案を追加した。(区事務局)
地表面兼用案	・校庭もこども園の園庭としての利用することを考えると、平日は 17 時までは公園側に開放しないほしい。 ・公園との兼用部分については、日常的には校庭として使い、イベントの際にのみ開けられるようにしたらどうか。 →兼用部分は公園の土地でもあるため、土日以外でも開放する時間を増やす検討は必要。夜間については防犯上も開放しないことになるだろう。(区事務局) ・道路から校庭が覗けないよう目線の高さ部分だけを隠せる仕切りで囲んではどうか。一方、公園と校庭との仕切りは、兼用の一体感を高めるためにも隠さずに透過性のあるものとした方が良いのではないか。 →覗かれることへの懸念は、公園側からの視線も含めての意見だったと思われる。(区事務局)
人工地盤案	・子どもたちが安心して活動できる環境のためには、校庭と公園のレベルを分ける案は良い。目隠しを設ける必要もなくなる。 ・セキュリティ上、校庭側から学校の入口に入るほうが良いのでは。 ・これまでの地表面で兼用する案と比べて、工事費は高くなるだろう。 ・新施設が建てられた後に現施設を解体して、それから人工地盤の校庭をつくるのだから、校庭の全体が完成するまでには相当の時間を要することになる。 ・現状も公園と校庭が分かれているが、フラットにつながっている方が地域行事はやりやすい。上下の二階層に分かれてしまうと、公園と校庭を一体的に使って地域行事を行うことが難しい。 ・校庭と公園をつなぐ大階段を設ければ、一体的な利用ができる空間となるのでは。 ・大きな滑り台で繋ぐのも魅力的だと思う。 ・人工地盤下は奥行きがあり薄暗い空間が広がる可能性があるため、大階段などで公園とつながった人工地盤の上を公園とし、その下に他の機能を配置する立体的利用もあり得るのではないか。

	→この案は、人工地盤上にセキュリティが確保された校庭を整備し、その下の地表面において都市計画公園の面積を確保する考えである。もちろん、人工地盤下の空間も、猛暑時の日除けスペースなど、公園としての必然を持った設えを工夫していく必要があると考えている。(区事務局) ・人工地盤下は、公園に関する倉庫やトイレなどで埋めてはどうか。 ・現在5階にある区民図書室のような機能を、この人工地盤下に持ってくる考えもあるのでは。 ・子どもたちにとっても図書館が利用しやすい位置にあるのは良い。昌平小学校は1階に図書館があり利用しやすい。 ・公園利用者と相性の良い区民施設は、公園に近い位置にあった方が良い。公園に隣接して図書室やカフェなどを配置するということも考えてみては。 ・人工地盤下に区民施設などを収めることで上階に余裕が出れば、中間階に小さな園庭などの外部空間をベランダ的に造ることもあり得るのでは。 ・現状でも防球ネットが低い。人工地盤上で野球をするとボールが外に出た時に下まで取りにいかねばならない。 ・都市公園の制度上、人工地盤案の実現が難しいことはあるか。 →全く無理ということはないと考える。子どもたちだけでなく、公園を利用される方の意見をしっかり取り入れてほしい。(区公園管理者)
屋上校庭案	・この案は建物が太くなり、奥の部分が窓から遠くなる。教室の配置など、学校計画としては難しくなる。(コンサルタント) ・病院からの見え方、入院棟からどう見えるのかが気になる。
和泉公園	・人工地盤案でも、公園部分については自然感が必要である。 ・新たな公園の中にも、桜を植えてほしい。砂場、子ども用遊具も必要だろう。 ・病院を利用する方にとっても公園の存在はとてもありがたい。 ・すべての人が使いやすいものになると良い。 ・じゃぶじゃぶ池は子どもから人気が高い施設である。工事期間中も継続的に利用できるようにできないか。 →現在のじゃぶじゃぶ池の位置は新たな施設の建設場所となるため、工事期間中の残置は難しい。(区事務局) ・ボール遊びについては、させてあげたい気持ちはあるが危ない面もある。現状では、病院へ通院している方やリハビリされている方等の利用も多いため、ボールが当たらないか不安がある。 ・公園管理者としてボール遊びによる利用はどのように考えるか。 →子どもの遊び場事業で時間を決めて利用させている。それ以上にボール遊びの利用ニーズが高い実態がある。(区公園管理者)
旧和泉町ポンプ所跡地	・移転建替えて進めていくとなると、工事期間中長く閉鎖される公園機能の代替が課題。これまでの検討会や地域からのご意見の中でも指摘されている。このため、ポンプ所跡地については、まずは工事期間中の代替公園、代替園庭として活用できればと考えている。意見があれば、後日でもお寄せいただきたい。(区教育委員会)
総括(日本大学理工学部教授)	・通常は検討委員会を重ねるたびに案を絞り込んでいくが、今回は施設配置に関して逆に複数の案が示された。しかし、そのおかげで多彩なアイデアが生まれ、有意義な会議になった。事務局は、いただいた意見を踏まえて次への準備を進めてほしい。